

厳しい勤務状況にある副校長・教頭の学校マネジメント等に係る業務を専門的に支援する人材である「副校長・教頭マネジメント支援員」が配置されている八万中学校の取組をご紹介します。

令和4年度実施の教員勤務実態調査によると、**小中学校における副校長・教頭の1日あたりの勤務時間の平均は、教諭よりも約40～60分長い**という状態

副校長・教頭の業務は多岐にわたる

- 電話対応
- 施設管理
- 文書作成
- 会議への出席
- 教員育成
- PTA関係業務
- 教員不足が起きている学校における授業や担任業務

八万中学校での副校長・教頭マネジメント支援員による支援

文書事務 (メールチェック・プリントアウト)

※勤務時間は1日5時間 (主に午前中)

電話対応の補助

学校ホームページの更新



以前に校長として八万中学校に勤めた経験を元に「地域ならではの」教育活動の推進をサポート

副校長・教頭マネジメント支援員の声



地域と業務改善を意識した教育活動のマネジメントについて、5月から教頭先生と一緒に考えてきました。また、担任教員の負担軽減も兼ねて、ホームページの更新 (各学年の授業の様子などを発信) をまとめて行っています。

各クラスの授業を回って写真を撮影する際、生徒の些細な様子の変化や学級の雰囲気等について、気づいたことを情報共有するようにしています。支援内容・方法については、まだ、手探りな状態ですが、より効果的にサポートすることができるよう、模索していきたいと考えています。

教頭先生の声

新任教頭である私にとって、支援員の方は、学校運営をサポートしていただける大変心強い存在であり、悩んでいるときの良き相談役です。文書作成のノウハウや、豊かな経験に裏付けられた「管理職の在り方・心構え」を伝授していただいています。困ったときもそばにいて、励ましの一言をもらえることに勇気づけられています。